



理事長あいさつ ······ 2	特集 炉暖祭 ······ 4・5
新年の抱負 包括支援センター長、特養科長 · 3	~時のひと~ ······ 6
チーム炉暖会 ······ 3	編集後記 ······ 6

炉暖の郷

検索

<https://www.rodankai.com>



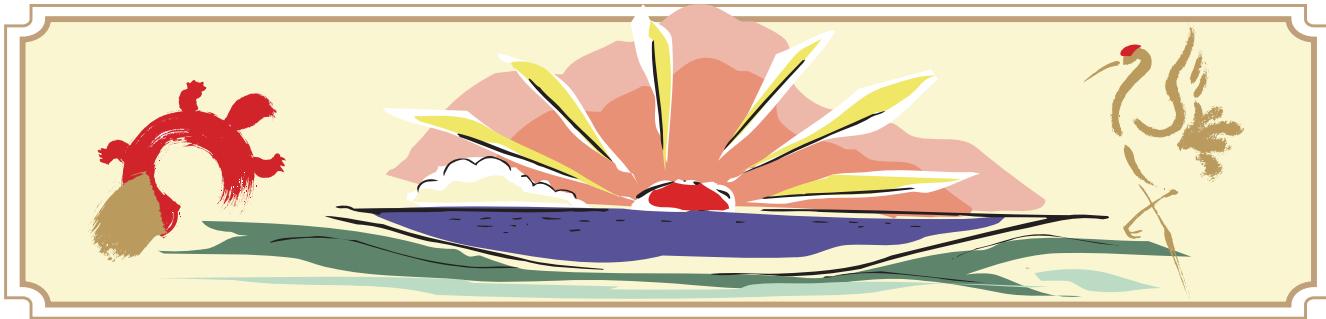
ホームページ



館内見学



RODANNO SATO.OFFICIAL



あけましておめでとうございます。

日頃より炉暖の郷の施設運営にご支

援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は10月に炉暖祭を開催したところ、多数のご家族様、ボランティアの皆様の参加を頂き、久しぶりにお祭り騒ぎを堪能する事が出来ました。

コロナで数年間中止し、一昨年と昨年は密を避け午前と午後で参加するご利用者様を振り分け2部制で開催しましたが、今年はコロナ前のように午後2時から全体で開催しました。オープニングではネパールの技能実習生から3ヶ月間踊りの指導を受けた職員有志と実習生で結成されたネパールダンス部10名によるネパールの民族舞踊を踊りました。特に実習生は、本国から持ち込んだ民族衣装を着て舞台中央でしなやかな踊りを披露し、ご入所者様、ご家族様、職員等から盛大な拍手を頂きました。舞台から降りた実習生は、ご入所者様、ご家族様に写真撮影の依頼を受け、会場をここやか顔で移動し、快く写真撮影に応じていました。天候にも恵まれ、無事終了出来たことは、参加者全員のご理解とご協力の賜と厚く感謝



ご挨拶

社会福祉法人 炉暖会

理事長 後藤 政美

申し上げます。

6月には、法人役員の改選がありました。理事、監事は全員留任していただき、評議員は7名の内2名が入れ替わりとなりました。退任された池田和男評議員は法人開設当初から22年の長きにわたり優先入所検討委員会の委員も兼任され、当法人に貢献して頂きました。芹澤二代保評議員は、地元の民生児童委員を務められ、二期4年の任期の中、地域の高齢者対策に貴重なご意見を頂きました。両評議員にはこの誌面をお借りして、厚く御礼申し上げます。新評議員になっていただいた井出正高様は、現在金岡西部連合自治会長金岡コミュニティ副会長を務められています。同じく新評議員の杉澤のぞみ様は、会社役員を務めながら介護資格を取得されています。

世界では、あちこちで紛争があり、特にロシア軍とウクライナ軍、イスラエル軍とハマスのバレスチナ自治区ガザでの戦争は、連日の新聞・テレビ報道で悲惨な映像が流れていきました。そんな中、メジャーリーグではドジャース対ブルージェイズのワールドシリーズで日本人3選手の大活躍でドジャースが

世界のチームとなり、特に山本由伸投手が最優秀賞を獲得したニュースは日本国内を明るくしてくれました。

7月の参院選で自民党が敗北し、民主党、参政党等の少数政党が議席を増やした為、石破首相が退任し、女性初の総理大臣として高市首相が誕生しました。連立与党も公明党から日本維新の会に変わり、トランプ大統領を皮切りに韓国、中国との首脳会談を行い無難なスタートで高支持率を得ました。

令和8年度は、人材不足から今までど同様の人員で、今までと同様の介護サービスを提供することが難しくなると考えられます。今までより少ない人員でもサービスの質を落とさず、さらに向上させるよう取り組まなければならぬと思われます。その為には、今まで確保できている人手をテクノロジーに置き換える、又は本当に必要な業務なのかを考え直さなければなりません。つまり人材確保が難しい中で限られた人数でも質の高いケアを維持するためには、生産性向上は避けて通れない課題です。令和6年度をホップ令和7年度をステップ令和8年度をジャンプの年と捉え2040年問題を早めの対応で推進めて参ります。

今後ともより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますと共に皆様方のご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年を迎えて



毎年「つづつ歳を重ね今年もまた新しい年を迎える今年も一年元気に過ごしたいと思いつつを切りました。私達は一年を通じて、沢山の高齢者の皆さんと巡り合います。その殆どが何らかの原因で暮らしに支障が出る方です。しかし、とても渕渕としてお年を感じさせない方にも出会います。その暮らしと関りや活動をされていまとつてすべてが学びとなり自分を高めていかせてくれていると感じています。今年も多くの皆さんと出会い多くの学びを得ながら、高齢者の地域の相談窓口として信頼と安心を届けられるよう職員一同元気に朗らかに業務に取り組んで参ります。

新年を迎え、今年も引き続いてになりますが利用者様が「ここで暮らして良かった」と心から実感できる特養づくりを探求したいと考えます。そのためにはまず、内部・外部研修を積極的に取り入れ、職員それぞれの専門知識・技術の向上をはかり介護チーム全体の成長を目指していきます。チームケアでは介護職だけでなく、他職種との連携も大切になります。利用者様と共に支える他部署との連携を密にし、情報共有を行なながら、利用者様の生活をチームで支えられるよう努めていきます。

毎年「つづつ歳を重ね今年もまた新しい年を迎える今年も一年元気に過ごしたいと思いつつを切りました。私達は一年を通じて、沢山の高齢者の皆さんと巡り合います。その殆どが何らかの原因で暮らしに支障が出る方です。しかし、とても渕渕としてお年を感じさせない方にも出会います。その暮らしと関りや活動をされていまとつてすべてが学びとなり自分を高めていかせてくれていると感じています。今年も多くの皆さんと出会い多くの学びを得ながら、高齢者の地域の相談窓口として信頼と安心を届けられるよう職員一同元気に朗らかに業務に取り組んで参ります。

かなおか地域包括支援センター
センター長 正岡 明美



特養介護科 科長 居山 美奈子



「イフ」と介護補助員の活用をしています。利用者様の安全を確保しつつ、かつ職員一人ひとりが気持ちの余裕をもって利用者様との余暇やケアの時間に還元し「生活の充実」に繋げられるよう取り組んでいきます。

新年を迎え、今年も引き続いてになりますが利用者様が「ここで暮らして良かった」と心から実感できる特養づくりを探求したいと考えます。

そのためにはまず、内部・外部研修を積極的に取り入れ、職員それぞれの専門知識・技術の向上をはかり介護チーム全体の成長を目指していきます。

新年も利用者様ご家族様、職員の活気と笑顔あふれる施設の実現を目指してチーム丸となつて全力で取り組んでいきます。



気持ちをひとつに 「チーム炉暖会」



コロナ禍では様々な行事が中止され、職場内でも他者との接触を最小限にするためこれまで実施されていた職員交流のイベントも制限されてきました。時の流れと共に少しづつ行動制限も解除され、職員交流も再開されるようになります。

今年度は夏にはボウリング大会、秋には御殿場時之栖での大宴会が開催されました。

ボウリング大会では多くの人と交流できるように各部署の方々をシャツフルしたチームが組まれました。優勝チームには某ギフト券が、個人戦優勝者には夢の国へのペアチケットが獲得できることあつては盛り上がり得できます。優勝チームにはないはずありません。順位発表のたびに大盛り上がり、さらに帰りにはおいしいお弁当とドーナツのお持ち帰りがあり笑顔あふれるときとなりました。

大宴会では飲み放題・食べ放入した見守り機器『見守りラ

人との交流が希薄になつている現代ですが、現代ですが、職員交流を重ね、笑顔あふれる楽しい職場となつていま

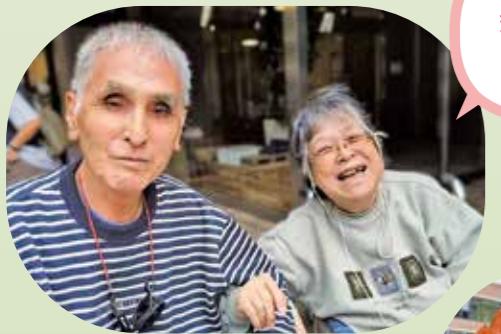




第18回 炉暖祭

2025年10月28日

秋の澄んだ空気のなかで行われた炉暖祭は、利用者の皆さんにとって心弾むひとときとなりました。色とりどりの出店や手作りの作品を眺めて笑顔を見せたりと、豊かな表情が印象的な一日でした。皆さんの元気な姿にスタッフ一同励まされました。



技能実習生と一緒にキレッキレ！のネパールダンス



マツケン
参上！



よなおしギターによる演奏



お楽しみ！大抽選会



やったね
♥



～時のひと～

「杉本様、こんにちは。今日は杉本様のお話を聞かせて下さい。」「あまり変なことは書かないでくれよ。笑」とにこやかにスタートしたインタビュー。

なんとこの日のために以前の記事を読んで、どんなことを話そうか予習していたそう。

昭和初期から平成、令和と目まぐるしく変わる世の中を過ごしてきた杉本様、海外勤務も経験され、とても魅力のある楽しいお話を聞けたので、どうぞお付き合いください。



杉本由藏様

静岡県で生まれ、小学校を卒業後、高等小学校へ進学。高等小学校卒業後は軍需工業（軍需工業とは武器や弾薬などの軍需品を開発、製造、支給する施設のこと）の仕事に就いたが仕事がなく、実家が半農半漁だったため、その収入で生活をしていたそう。

しかし、そののち朝鮮動乱がはじまり、アメリカから大量の仕事を入ったことで生活が一変し、大忙し!!

会社の独身寮に入り、船の故障を直す仕事をしていたが、夜中でも「何時までに船を直してくれ。」とたたき起こされ、昼夜問わず仕事をした。

お給料も良く、そのお金は何に使ったのですか?と聞くと寮費やたばこ、あと仲間たちと飲みに行くお金に使っていたそうだ。

とても忙しかったが、今まで仕事をしたくてもできなかつたため、仕事があることがありがたかったという。

22・23歳頃になると、また世の中で仕事がない状況になり、職場へ行っても仕事がない日々が続いた。それでも解雇される人が多い中、会社に残っていただけ幸せだったと話す。

その後、プラスチックの本格的な工業化と、イギリスからの仕事がもらえたことで、やっと世の中が正常になったと感じる反面、時代の変化についていけず潰れる会社も多かつた。

高度経済成長期に突入し、テレビ、洗濯機、冷蔵庫の3種の神器が普及。終戦後7・8年で大きく時代が変わったと話す。

ずっと同じ会社に勤め、42歳で部署異動。台湾、アルジェリア、ウクライナ、ロシア、インドと海外勤務を経験。ロシアのマイナス25℃の厳寒からインドの45℃の灼熱を体感し、お小遣いをくれる台湾やスリに注意しながら過ごすアルジェリアと各国でいろいろな出来事があったが、今となってはどれもいい思い出だそう。しいて言うならどこの国がよかったですか?と聞くと、当時から親日で、日本に近かった台湾が楽しかったと話す。インタビューではもっとその国の特徴(景色や国民性)をたくさん教えてくれ、私もその国に行つた気分になった。今までで一番思い出に残っていることは海外へ行ったことで、いろいろな人と出会い、いろいろな経験ができたことが貴重だったと話す。お話し上手で話題が豊富な杉本様。まだまだ書ききれないエピソードがありますが、文字数がオーバーしそうなので、今回はここまで。また次回をお楽しみください。



いつも機関紙をお読みいただきありがとうございます。
一段と寒さがこたえる季節となりました。毛布にくるまれて、いる時間が幸せすぎて、毎朝日覚まし時計と戦つて、いる今日このごろ。
さて、炉暖の郷ではインスタで日々の様子をお伝えしています。その中で「#シニアスマイルプロジェクト」というイベントがあり細々と応募していたのですが…なんと先日「ルーキー賞」を受賞!!副賞にはケーリーが届き、「幸せすぎて困っちゃう♡」と自身の写ったフォトクッキーを躊躇なくペロッと平らげておりました。
そんなこんなで、ますます幸せがパワーアップした炉暖の郷。これからも皆さまのステキな表情をお届けすべく、寒さに負けず、毎日を楽しんでいきたいと思います。

編集後記